

本町通り商店街エリア ウォーカブル勉強会（第2回）

【開催概要】

- ・ 日 時：令和6年5月9日（木）19:00～20:30
- ・ 場 所：本町BASE（Web併用）
- ・ 内 容：①広島県竹原市の取組事例
②生活社会実験に向けて
- ・ 参加者：約30名
地域住民、観光・商工関係者
まちづくりに興味関心のある方



広島県竹原市の取組事例

（講師：広島県竹原市企画政策課
伊藤 氏）

■取組事例

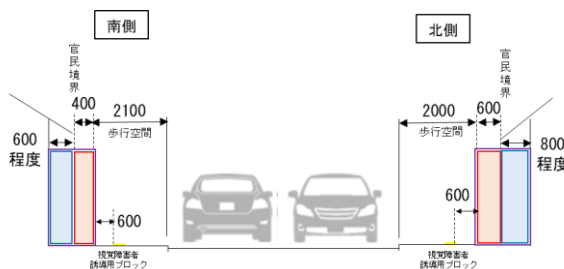
- ・ 広島県南中部に位置する人口約25,000人の自治体、JR竹原駅を中心に扇状の市街地を形成
- ・ 駅前エリア全体の魅力が低下、効率的な空間活用を図り、交流等によるエリア価値向上に向けたビジョンを策定（R3. 2月）
- ・ 子どもをターゲットにして、長時間滞在できる企画を実施
- ・ 居心地の良さを追求するため、質の高い空間づくりが重要
- ・ 沿道店舗にも商品提供やベンチ設置等の協力を依頼し、経済的効果が見られた
- ・ ウォーカブルは手段であり、その先の目的が大切



生活社会実験に向けて

○内容

- ・ 市街地中心部を回遊する遊歩道整備や空き店舗等を活用したマルシェの開催、新規出店に伴う生活環境の向上が見られる状況
- ・ 公共空間の利活用、沿道環境の変化に伴う行動変容調査、歩行者中心の道路整備に対する課題検証等を目的に、生活社会実験を実施
- ・ 将来的に官民一体による公共空間の創出、歩行者の安全性・快適性の向上を図ることを目指す
- ・ 生活社会実験は、愛知県岡崎市の取組事例を参考に、軒先と歩道の一部を活用
- ・ 設置および利用方法は地域住民と協議



歩道の活用イメージ



先進事例（岡崎市）